第　1　学年　　技術・家庭科　技術分野

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>技術・家庭[技術分野]（開隆堂）
木材（幅はぎ）t12×210×1200
紙張りスチレンボード</td><td>持ち物</td><td>教科書
筆記用具
ファイル</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">＜確かな学力を身につけるには＞
・実習の授業では、なぜこの道具を使うのか、効率よく作業するにはどうするかを考えながら作業する。
・座学の授業では先生の発言やクラスの友達と話し合ったことをメモしておくとよい。
・工具の安全な取り扱い方をよく理解してから作業に取りかかるようにしよう。

＜定期テストでは＞
・教科書やプリントを見直して、材料加工に関する様々な語句や工具の使い方、作業手順を復習しておこう。
＜学び合いについて＞
・作業で困ったことがあったときは、まずグループの友達に聞いてみよう。
・ひとつの作業を二人で協力して進める場合もある。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">・移動教室でもベル黙をしっかりと守る
・ファイルや教科書は必ず持ってくるようにする
・ケガをしないように集中して作業に取り組むようにする
・先生の話を聞くとき、友達と話し合うとき、作業をするとき、今がどの時間なのかを意識して気を抜かないようにする

※服装は座学のときも実習のときも「制服」で行います。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画				評価の観点　評価の方法（見取り）	
一学期	4 5 6 7	・ものづくりの視点と進め方 ・材料と加工方法 ・設計 オリジナル作品の設計 （夏休み）			知識・技能	・材料加工の技術に関する知識が身に付き、活用できている。 ・適切に道具を扱い、安全に正確な作品づくりをすることができる。 ・製作に必要な図の書き方、図に表す技能を身につけている。	・作品 ・テスト ・等角図
二学期	9 10 11 12	・加工実習（作品制作）	中間		思考・判断・表現	・目的に合った作品のデザインについて考え、自分なりの工夫を凝らすことができる。 ・効率的な作業のために工具の使い方などを工夫することができる。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身につけている。 ・製作の課程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身につけている。	・作品 ・テスト ・等角図 ・プリント
三学期	1 2 3	・加工実習（作品制作） ・材料と加工に関する技術の評価と活用 ・金属 ・プラスチック	学年末		主体的に学習に取り組む態度	・材料加工についての技術に関心を持ち、ものづくりの作業に意欲的に取り組んでいる。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善、修正しようとしている。	・授業への取り組み ・課題への取り組み